

# 家庭学習の大切さを再度確認しましょう！

全国学力・学習状況調査の結果公表に伴い、生徒に調査結果を返却することになります。夏季休業中には、学力向上担当者を中心として調査結果の分析・検討に取り組まれたことと思います。県全体を見ると徐々に授業改善等の成果が表れ、全国平均との差が縮小してきていますが、依然として課題が残っているのも事実です。

ぜひ、分析結果を学校全体で共有し、課題の解消に向けての取組を全教職員で徹底しましょう。また、結果の返却に当たっては、結果を単に伝えるのではなく、改善に向けての取組方針を含めて、きちんと生徒や保護者に説明して返却をし、年度末に向けて着実に学力向上の取組を進めることが、「我が校の生徒は！」と胸を張って送り出せることにつながると信じています。

## 【岡山県の全国学力調査結果】 平均正答率〔%〕（下段は全国平均正答率）

	国語A	国語B	算数A	算数B	国算計
小学校 6年生	72.6 (72.9)	57.5 (57.8)	77.2 (77.6)	47.3 (47.2)	254.6 (255.5)

	国語A	国語B	数学A	数学B	国数計
中学校 3年生	74.7 (75.6)	63.8 (66.5)	60.3 (62.2)	41.4 (44.1)	240.2 (248.4)

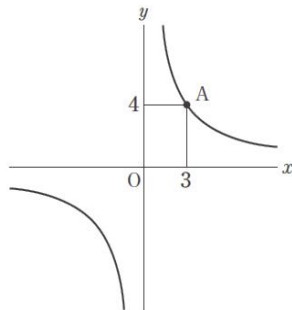
- ・算数Bで初めて全国平均を上回った。
- ・他の問題でも全国平均との差が、-0.4~0.1〔%〕と縮小した。

- ・全国平均との差が、-2.7~-0.9〔%〕と縮小した。

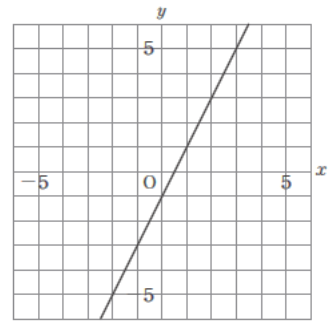
着実に成果は上がっていますが……

下の2問はいずれも、数学のA問題です。左の問題は、全国平均を超えています、右の問題は全国平均を下回っています。

(4) 下の図は、反比例のグラフで、点A(3, 4)を通ります。このとき、 $y$ を $x$ の式で表しなさい。



(3) 次の図の直線は、一次関数のグラフを表しています。



$x$ の変域が $1 \leq x \leq 3$ のとき、 $y$ の変域はどのようにになりますか。下のそれぞれの  に当てはまる数を求めなさい。

$\leq y \leq$

設問 番号	正答率 (%)		無解答率 (%)	
	県	全国	県	全国
A9(4)	37.4	34.5	16.3	14.8

設問 番号	正答率 (%)		無解答率 (%)	
	県	全国	県	全国
A10(3)	37.3	43.0	21.5	18.9

分析に当たっては、「全国平均を超えたからよくできている」に留まるのではなく、「両問題とも、4割弱しか正答していない」「無解答率が全国より高い」と言った、生徒のつまずきを基に、次の授業改善につなげる視点で取り組むことが大切です。

その際、「全国調査の結果だから……」と担当教科の教員任せにするのではなく、目の前の生徒に、学習指導要領に基づいた学力の定着を図ることができているかを全教職員で考えることが必要です。

特に、中学校においては、家庭学習に依然として大きな課題があります。

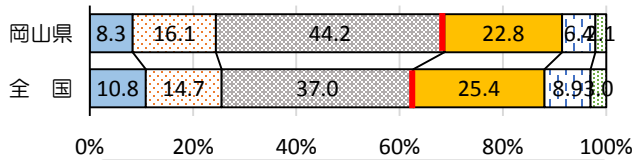
【→裏面へ】



# 【岡山県の学習状況調査結果】

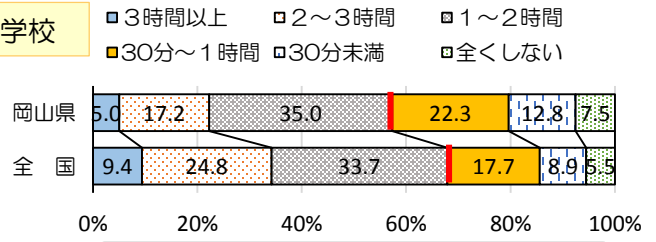
Q: 学校の授業時間以外で、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

## 小学校



「1時間以上」と回答をした児童の割合  
**岡山県：68.6%** 全国：62.5%

## 中学校



「1時間以上」と回答をした生徒の割合  
**岡山県：57.2%** 全国：67.9%

驚きの結果が・・・  
**小学校6年生より少ない  
 家庭学習時間!**

岡山県の中学生の学習時間は、全国の中3生に  
 比べ-10.7%、本県の小6に比べ-11.4%

スマホとカの時間も増えてるよなあ・・・  
 家庭学習をさせていないのか、していないか。  
 このままていいわけじゃないよなあ～。



## 宿題の現状を小学校・中学校で比べてみると・・・

### 小学校

- 授業での学習内容の定着を意図した読み、書き、計算のドリルが中心。

- 提出は翌日。  
→取組の習慣化が図れている。
- 自主学习に積極的に取り組む。

### 中学校

- 問題演習のプリント、ワークが中心。各教科担任で宿題を出すため、曜日によって、課題の量がバラバラになる。
- 定期考査前に、ワークやプリントをまとめて提出させる。

- 次の授業時に提出を求めるなど、提出サイクルに統一性がない。
- 一斉に点検をするため、点検印を押印して返却することが中心。  
※コメントなどを添えることが難しい。

## 【生徒の声】 Q: 小学校のときと比べて、宿題で困ることはありますか?

- 小学校の時は、「今日は〇〇をきなさい。」と決まっていたけど、中学校は「この日までに〇〇をきなさい。」って言われるから、後回しにしてしまっただけで提出し忘れてしまう・・・。
- 小学校の時は、毎日少しずつ宿題が出ていたけど、今はテスト前に一気に出て、テスト週間は提出物対策でテスト勉強がなかなかできない。

**Check!**

宿題の質や量、取り組みせ方や評価を確認してみよう。

- 宿題の量及び提出日を学年内で調整している。
- 意欲の喚起につなげる点検を行っている。
- 宿題との連携を意識した授業の振り返りをさせている。
- 定期考査前に詰め込んで課題を出している。

## 家庭学習習慣の確立は、生徒の「自己管理能力」の育成につながる重要な取組です!

県教育委員会では、昨年度「家庭学習のスタンダード」を作成しました。また、各校においても独自の「家庭学習の手引き」を配付していることと思います。

今一度、家庭学習の在り方について、確認し、生徒にとって実のある宿題の出し方を全教職員で考えて取り組みましょう。

教科担任・係が範囲や提出時期等を記入。学級担任が帰りの会で生徒に確認することで、取組状況に改善が見られています。

全国学力・学習状況調査結果の個人票の返却に当たっては、生徒だけでなく保護者にも「学校の取組の方針」を示し、保護者への協力事項も伝えるようにしゅ。



【宿題ボードの例】

